

令和2年度大船渡市地域安全推進協議会
委嘱状交付式及び第2回協議会議事録

1 開催日時及び場所

○日時 令和2年12月16日(水) 午前10時～11時10分

○場所 シーパル大船渡 大会議室

2 委員数 20名

3 出席者

○委員 18名

- ・江 刺 由紀子 (気仙地区少年警察ボランティア協会)
- ・山 下 タエ子 (大船渡市社会福祉協議会)
- ・近 藤 均 (大船渡市防犯協会連合会)
- ・小 畑 かよ子 (大船渡市民生児童委員協議会)
- ・木 下 美栄子 (大船渡地区人権擁護委員会)
- ・佐々木 好 子 (大船渡市各種女性団体連絡協議会)
- ・熊 谷 篤 子 (大船渡市更生保護女性の会)
- ・吉 田 祥 (岩手県高等学校長協会気仙支会)
- ・小 石 敦 子 (大船渡市小中学校長会)
- ・伊 藤 英 子 (気仙地区保護司会)
- ・菊 池 まゆみ (大船渡商工会議所)
- ・山 口 陽 子 (大船渡市農業協同組合)
- ・金 野 裕 子 (大船渡市水産振興連絡会)
- ・阿 部 なつ子 (大船渡市交通指導隊)
- ・中 野 貴 之 (大船渡警察署生活安全課)
- ・村 上 裕 樹 (大船渡警察署交通課)
- ・佐 藤 真 (大船渡市教育委員会事務局)
- ・金 野 高 之 (大船渡市生活福祉部)

○事務局 (大船渡市生活福祉部市民環境課) 4名

市民環境課長 下田牧子、課長補佐 佐々木浩久
係長 森友之、主事 千田圭祐

4 議事の経過

《委嘱状交付式》

- (1) 開 会 下田課長の司会により進行。
- (2) 委嘱状交付 委員18名に委嘱状を交付。(木下委員が代表受領)
- (3) 市長挨拶 戸田市長より挨拶。
(終了後、市長は退席。)
- (4) 閉 会

《協議会》

(1) 開 会 佐々木課長補佐の司会により進行。

(2) 協 議

①会長の選任について

事務局より、大船渡市地域安全推進協議会会長の選任に関する規定について、大船渡市地域安全条例及び大船渡市地域安全条例施行規則を資料により説明した。

会長の選任方法を諮ったところ、事務局案との意見があった。事務局では江刺委員を推薦し、異議無く承認された。

(3) 情報交換

ここから江刺会長が議長となり進行。

情報交換に入る前に、事務局から会長代理の選任について提案したところ、事務局案を求められ、山下委員を推薦し、異議無く承認された。

事務局より、配付資料の説明をし、村上委員（交通課長）、中野委員（生活安全課長）それぞれから交通事故発生状況や犯罪認知件数等、資料により説明をいただいた。

[村上委員]

○大船渡管内での死者数は令和2年10月末時点で1件発生している。

○県内では、10月末時点での死者数が39名となっている。

○令和2年に発生した岩手県内での交通死亡事故の概況について、高齢者が関連する死亡事故が多い現状である。また、単独事故の割合が高い。

[中野委員]

○10月末時点で大船渡市での犯罪認知件数は37件。うち住宅対象の侵入窃盗が1件。万引きが13件発生している。大船渡市内での無施錠被害は1件となっている。

○特殊詐欺の被害は今のところはない。

○県内での子どもや女性に対する声かけ事案等については、10月末時点で272件となっており昨年同時期比で57件減少しているが、まだ多い状況にある。

[江刺会長]

各委員所属団体の活動状況の報告等について発言願う。

[佐藤委員]

市内小中学校の冬休み期間について、夏休みの時は、新型コロナウイルス感染拡大防止による休校期間もあり期間は短縮となったが、冬休みは短縮もなく予定どおりとなる。

[伊藤委員]

気仙地区保護司会は、更生保護サポートセンター気仙として大船渡市魚市場内に事務所を設置し、11名の保護司により、罪を犯した者の更生を助け、また、犯罪や非行を未然に防ぐ活動を行っている。

[近藤委員]

自宅付近で毎朝、児童の登校時の見守り活動を行っている。

[吉田委員]

新型コロナウイルスの影響により通常の活動ができない状況となっている。部活動の遠征や修学旅行も制限せざるを得ない状況で、また、これから受験を控える時期であり心配である。

(5) その他

特になし。

午前11時10分閉会。